

目 次

研究成果は誰のもの?	1	おすすめ図書の紹介	5
寄贈図書一覧(平成29年1月～6月)	3	お知らせ	6
岐阜大学図書館の理念・目標について	4		

研究成果は誰のもの？

大 矢 豊



内閣府の検討会によるオープンサイエンスに関する報告書が2015年3月に公表されました。この報告書の骨子は、公的研究費を用いて行われた研究成果は広く活用されるべきであり、そのためにもサイエンスのオープン化を進めよう、というものです。これは天然資源に乏しい日本が科学技術イノベーションによって新たな価値を創出し、持続的に発展するために必要不可欠なものであるとしています。さらに公表する対象は論文のみならず、その論文の基となっているデータまでを含むものとしています。報告書はオープンサイエンスについての世界的潮流に沿ったもので、“乗り遅れるな”、“日本に不利な状況で進められてはならない”、“むしろ日本がリードすべきである”ということが契機になった、とサマリーに書かれています。世界的潮流というのは2002年のBudapest Open Access Initiativeに代表されるもので、全てのピアレビューを経た研究成果への自由なアクセスを求める、というものです。背景としては研究成果がある特定の科学コミュニティーに限定されており、成果のインパクトの最大化が図られていないこと、さらに出版社への増大する購読料の負担という問題があります。

内閣府の報告書は「我が国におけるオープンサイエンス推進のあり方について」として検索すれば、

関連する記事とともに容易に探しだし読むことができます。この内閣府による最終報告書はPDF形式ですが、本文中の検索や文字のコピーは出来ないものであり、政府の情報のオープン化に対する姿勢を垣間見ることが出来ます。

大学におけるオープンサイエンスの最大の担い手は図書館であり、全国的に大学図書館による学術機関リポジトリが運用されています。オープンサイエンスに不可欠なことは、情報がデジタル化されており、インターネット上でアクセス、閲覧が可能で、機械による読み取りが可能なデータであることです。大学図書館によってリポジトリ登録が進めやすかったのは学位論文で、現在はほぼ全ての博士論文がデジタル化されて登録され本文を閲覧することが可能になっています。昔、私が博士論文を提出したときは大学の図書館と国会図書館に印刷・製本した実物を送る、ということで良しとしていました。現在、博士論文を提出した大学図書館のWebサイトを見ても論文題目と学位授与日が分かるだけです。平成25年3月の学位規則(文部省令)改正により「学位論文はインターネットの利用により公表する」となりそれ以降は原則としてデジタル化されています。さらに大学によっては過去の学位論文のデジタ

ル化も進めているようで、岐阜大学も同様です。

博士論文のように国が規則を定める場合のオープン化、リポジトリ化は円滑に進むのですが、そうで無い場合は大学構成員のコンセンサスが必要です。岐阜大学では機関リポジトリの運用指針は平成22年に作られていたのですが、その基になる考え方、ポリシーは明確にされていませんでした。そこで平成29年3月に学長裁定による「岐阜大学オープンアクセス方針」を定め、教員による学術雑誌等により公表された教育・研究成果は原則として機関リポジトリによって公表する、となりました。リポジトリなどでオープンアクセスとする場合には著作権などクリアしなければならない大きい問題があるのですが、広く公開するためのコンセンサスが得られたと思います。教員の皆さんにもリポジトリ登録に是非協力頂きたいと思います。

論文等を公表することは閲覧者の利益になり得る、ということは明かです。このことは、公表は公的研究資金を使用している研究者の義務でもあると言い換えることもできます。翻って研究者自身についてはどうでしょうか。研究者にとっては自分の研究の一端が広く世に知られ、新しい研究や技術の発展に少しでも寄与できることが大切だと思います。これには自身の論文等の研究成果を広く配布できる手段を、機関リポジトリなど出来るだけ多く持つことが重要であり、限られた学術雑誌にアクセスする研究者だけでなく、分野を異にする研究者や企業等の技術者に対しても公表されていることが必要と思います。

現在、いわゆる「論文の質」を測る手段として、論文が掲載された学術雑誌のCiteScoreやImpact Factorが用いられます。これは、被引用数が多い雑誌に掲載される論文は質が高い、ということを判断基準にしていることとなります。従来から言われていることですが、日本人の（岐阜大学も含め）論文は被引用回数が多くなく、被引用回数を多くするためにCiteScoreやImpact Factorが高い雑誌に投稿しよう、また日本人の場合は国際共著論文が少ないこ

とが被引用回数が少ない原因かもしれないので、国際共著論文を増やそう、ということが言われています。機関リポジトリに登録することで少しでも論文の検索に引っかかり、全文を読んで貰うことが出来るような手段を講ずることが大切であると思います。一方、既に個々の論文について被引用数が集計されており、これからは雑誌基準では無く論文基準で評価できるようになると思いますが、論文の被引用数が評価できるようになるまで数年かかるため、日本のような単年度主義ではなかなか進まないかもしれません。

大学における研究者は学問の自由を基本とし、研究の自主性、自立性を堅持しなくてはなりません。一方、研究に用いる資金は公的なものであり、使用方法とその成果については社会に対する説明責任を負います。Cavendishの様に自分の好奇心を満足させる事だけを目的に実験を行うことは、今の世界では現実では無くなりました。研究成果は普通学術論文を意味しますが、最初にも述べたようにその基となる実験データについても包含する方向にあります。巨額の研究費用が必要な天文学や素粒子関連の観測データ、データが多種多様で量も膨大なゲノム配列など生命科学分野でデータの共有が進んでいるようです。この様なデータを蓄積、オープン化することは一つの実験結果からの最大効果を生み出すと同時に、自分の実験の正当性を担保することにもつながると思います。

しかしながら、実験データのオープン化にはデータ形式の標準化やサーバーの利用、管理者等の経費の問題があり、またデータだけ「横取り」したような研究も出てくるかもしれません。しばらくの間は大学図書館の機関リポジトリへの登録に協力することがオープンサイエンスに対して寄与できる現実的な対応かもしれません。

（おおや ゆたか：研究推進・社会連携機構
副機構長、工学部教授）

寄贈図書一覧（平成29年1月～6月）

平成29年1月～6月に図書館にご寄贈いただいた図書の中で、本学教職員が著作・編集・刊行等に関係した図書を掲載します。ご寄贈いただき、ありがとうございました。引き続き、ご寄贈をお願いいたします。

●益川浩一（地域協学センター）

- ・現代社会教育・生涯学習の諸相／益川浩一著
第2巻：現代編

【本館3階 379 || Mas】

～内容紹介～

社会教育・生涯学習の諸相を歴史・現代・実践の三側面から解明することを目指しています。「現代編」では、市町村合併や指定管理者制度導入等の行政再編と地域における社会教育・生涯学習の変容について考究します。

●山田敏弘（教育学部）

- ・岐阜と愛知の方言地図集／山田敏弘編著（ぎふ・ことばの研究ノート, 7, 16）

【本館岐阜県郷土資料コーナー 岐000 || Gih】

- ・岐阜県方言辞典／山田敏弘著 改訂増補統一版（ぎふ・ことばの研究ノート, 17- [1]）

【本館岐阜県郷土資料コーナー 岐000 || Gih】

- ・岐阜県・愛知県方言地図／山田敏弘著（ぎふ・ことばの研究ノート, 17-2. 岐阜県方言辞典）

【本館岐阜県郷土資料コーナー 岐000 || Gih】

●原山美知子（工学部）

- ・インターネット工学／原山美知子著（シリーズ知能機械工学／川崎晴久〔ほか〕編集委員, 5）

【本館3階 547.48 || Har】

～内容紹介～

本書はコンピュータネットワークの入門書です。多くの概念や用語を理解しやすいよう図を中心に解説しています。また、インターネット関連の役立つサイト、基本的なツールやコマンドを紹介しています。

●下澤伸行（生命科学総合研究支援センター）

- ・ペルオキシソーム病ハンドブック：全てのペルオキシソーム病患者の診断治療を目指して／下澤伸行著 2013

【本館3階 491.69 || Sim】

【医図3階 491.69 || Sim】

- ・副腎白質ジストロフィー診療ハンドブック：ALD患者を支えている関係者の皆様へ／「副腎白質ジストロフィー診療ハンドブック2013」作成委員会編集 2013

【本館3階 493.49 || Huk】

【医図3階 493.49 || Huk】

- ・副腎白質ジストロフィー（ALD）診療ガイドライン=Practical guideline for the management of adrenoleukodystrophy (ALD)／副腎白質ジストロフィー（ALD）診療ガイドライン作成委員会編集 2017

【本館3階 493.49 || Huk】

【医図3階 493.49 || Huk】

～内容紹介～

ゲノム研究分野では2つの指定難病（ALDとペルオキシソーム病）の国内唯一の遺伝子診断施設として全国の難病患者に貢献しています。本3編は希少疾患の診療情報周知を目的に厚労省や関連学会の協力で作成した本です。

※内容紹介文は寄贈者による。

岐阜大学図書館の理念・目標について

岐阜大学図書館ではこれまで、図書館の基本姿勢を示すものとして「岐阜大学図書館ポリシー2012」を定めていました。

しかしながら、平成28年度から国立大学法人が第3期中期目標・中期計画期間に入ったこと、国立大学図書館協会で『国立大学図書館機能の強化と革新に向けて～国立大学図書館協会ビジョン2020～』が採択されたことを受けて、新たに「岐阜大学図書館の理念・目標」を策定しました。

具体的には、以下のとおりです。

1. 理念

岐阜大学の教育・学習と研究活動を支える重要な学内組織としての役割を担うとともに、社会に開かれた図書館を目指します。人と情報が集まり知を交流させる場、体系的な知と先進的な知を統合する場、学問的・人間的発展を可能とする場、成果を社会に発信し有為な人材を送り出す場として、岐阜大学の理念「学び、究め、貢献する」の実現の一翼を担うことを目指します。

2. 目標

1の理念を実現する手段として、①利用者のニーズを把握して質の高いサービスの提供に努めること、②学生の主体的な学習に必要な資料を整備するとともに学習スタイルに即した空間と環境の提供に努めること、③教育・研究を支える最新の学術情報資料を整備して多様な学術情報資源の効率的な収集・管理を行い学術情報提供の最適化に努めること、④岐阜大学における教育・研究成果等を積極的に集積・発信して学術情報流通の促進と国立大学としての社会的責務を果たすように努めること、⑤所蔵資料の公開等により地域社会の生涯学習支援と文化振興に努めること、の5つを目標としています。

3. 重点目標

1の理念、2の目標を踏まえて、2020年度までの重点（戦略）目標として、（1）岐阜大学の歴史・沿革に関わる史料・資料を「岐阜大学アーカイブス」として体系的に保管管理して、学術情報資産として学内外で活用できるようにする。（2）図書館が現在保有している学術情報データベースとresearchmap等の外部データベースを連動させ、データベースの利便性を向上させるとともに機関リポジトリによる研究成果等の発信を推進する。の2点について重点的に取り組みます。

おすすめ図書の紹介

図書館では学生の皆さんに、「誰かにおすすめしたい図書」の紹介を募集しました。

その結果、以下の図書が推薦されましたのでご紹介いたします。

夜は短し歩けよ乙女／森見登美彦（図書館本館3階 913.6 /Mor）

●言葉遣いが唯一無二で、秀逸。

主人公が「青春など唾棄すべきもの」と、いわゆるリア充に対し否定的なのも痛快で、それでいて主人公以外の登場人物も“パンツ総番長”など、一癖も二癖もあり、とにかく癖が強くて読んでいて世界観に引き込まれていきます。

また、関係なかった人たちが次第に交錯しあうのもこの物語の魅力で、自分のささいな言動も、きっと誰かに影響を与えていて、自分は一人だけじゃないと改めて考えさせてくれる本でもあります。

【工学研究科 機械システム工学専攻 2年】

●少し前に映画化された本です。

この物語は主人公が彼女を追って奮闘する恋愛小説ですが、作者独特の文体で書かれていてクセになります。

【自然科学技術研究科 環境社会基盤工学専攻 1年】

嫌われる勇気／岸見一郎，古賀史健（図書館本館3階 146.1 /Kis）

●この本は心理学の中でもアドラー心理学という学問を題材にしています。

スマートフォンやSNSの普及から、人はより多くの人間と関わるようになりました。人と関わることで発生する対人関係や悩みをアドラー心理学に基づいて説明し解決していきます。対話形式で読み易く、ふと、何かに気付かされる本です。

自分の考え方や思考にスパイスを与えてくれる、そんな本です。

【工学研究科 機械システム工学専攻 2年】

ハーバードの人生を変える授業／タル・ベン・シャハー著；成瀬まゆみ訳（図書館本館キャリア図書 159/Ben）

●この本では、実際に行われている研究を題材に、何を考え、どのように行動すればよいという筋で1つ1つの項目が書かれているのでとても読みやすいです。

また、1つ1つの項目を達成することができれば自分の成長につながるため、楽しんで実行してみようと思うことができます。

【応用生物科学研究科 応用生命科学専攻 2年】

/// お 知 ら せ ///

図書館システムの更新について

岐阜大学図書館では、8月末から図書館システムの更新を行いました。

これに伴い、蔵書検索システム（OPAC）やポータルサイト（My Library）等の画面が変更となった他、図書の予約を行う際に本館か医学図書館かを選択できるようになる等、利便性が向上しました。

システムの更新にあたって一時システムを停止させる等、利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。今後とも岐阜大学図書館をご利用いただきますようよろしくお願いいたします。

教育用パソコンの更新について

岐阜大学では8月中旬にキャンパス基幹情報システムの更新を行いました。

これに伴い、図書館に設置されている教育用パソコンも新しいものへと更新されました。

今回の更新により、ラーニング・コモンズAからは教育用パソコンが撤去されておりますのでご了承くださいますようお願いいたします。

図書館講習会について

岐阜大学図書館では、毎年、春（5～6月）と秋（10～11月）に資料の探し方や文献検索などのさまざまな講習会を行っています。

日程が決まり次第図書館Webサイト等でお知らせいたしますので、積極的な受講をお待ちしています。

学習や研究に、是非お役立てください。